

おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

共に生きるまちづくり

ボランティア活動を応援

ボランティアセンター運営委員会開催

ボランティア活動の一層の充実を図るため、第2回のボランティアセンター運営委員会を開催しました。運営委員は、小地域福祉ネットワークや地域でボランティア活動をされている方、青年会議所など3人です。今回は、平成25年度の事業内容について意見交換をしていただきました。主な事業内容と出された意見をまとめました。

災害ボランティア支援

災害ボランティアセンターの運営

マニュアルの作成と災害ボランティアの養成について
実際に被災地でボランティア活動をした方など、多くの意見を取り入れた内容にしたかどうか。
災害時にボラセンを手伝ってくださる人を募ったかどうか。

ボランティア基礎講座

ボランティア活動のきっかけづくりと地域の担い手育成について
遺言書の書き方や男性の料理教室、健康体操などやったらどうか。
定年退職世代に声をかけて、地域の活動に誘ったらどうか。

ボランティア基金の活用
市民から寄せられた善意の寄付金の使い道について
貸出用の車いすの修理は、すぐやってほしい。

コピー機を買い換えて、多くのボランティアに使用してもらったかどうか。

ボランティア室で、パソコンやインターネットが使えたらいい。
貴重な意見をたくさんいただき、ありがとうございました。今年度の事業に反映していきたいと思っています。

ボラセンって...

ボランティア活動に参加しやすい環境づくりやボランティア同士のつながりが持てるよう応援します。また、ボランティアに関する相談や情報提供をしていきます。

連絡先：大町市社協内

TEL 22-1501
FAX 22-7071

傾聴ボランティア講座

1月23・24日の両日、傾聴ボランティア講座を開催し21人が受講しました。協会 鈴木絹英理事長から、傾聴の基本的な心構えや信頼関係のつくり方を学び、参加者が配役を決めて傾聴のスキルを練習するロールプレイングの指導をいただき、「傾聴」の基本が詰った講座となりました。最後に修了証が手渡され、新たな傾聴ボランティアが誕生しました。また、福祉施設で実習も行い、実習生の皆さんは少し緊張しながら、利用者の方々の話に耳を傾けていました。実習後、傾聴ボランティアグループに多数入会していただきました。地域のニーズに応じていけるよう、今後の活躍を期待しています。

登録ボランティアグループ紹介
安曇養護学校大町地区PTA その9

メンバー紹介

昭和63年に開校し、現在児童生徒数が200名ほどの県立安曇養護学校。そこに大町市から25名ほどの子ども(小学部1年生～高等部3年生)が通っています。メンバーは、そのPTAと子どもたちです。

どんな活動をしていますか?

I.親子で花の苗を植える

毎年5月の末にプランターに花の苗を植えて、お世話になっている福祉センター、児童館、図書館、作業所等にお配りしています。

II.雑巾縫い

保護者の有志で、タオルを縫って雑巾づくりのボランティアをしています。情報交換をして交流を深めたり、大切な仲間づくりの場でもあります。障がいの理解や教育に関する情報は、大変勉強になり、かづけられます。

映画鑑賞会のお知らせ

今年の秋に『1/4の奇跡～本当のことだから～』という映画の上映会を、スクラムネットと計画しています。

「全ての人が一人一人使命を持って生まれてきている

この子は素晴らしいんだ

ありのままを受け入れてあげたい
もっともっと自分のことを

好きになってもらいたい

好きになるように育ててあげたい」と思わせてくれる涙の感動ドキュメンタリー映画です。上映が決まれば掲載します。鑑賞においでの際は、厚手のハンカチ持参でお越しください。

日本を始め世界各地で上映されているこの映画の紹介は、インターネットで見ることができます。



福祉施設で実習

傾聴
相手の話を、相手の身になつて、気持ちを感じ取るように聴く

楽しいレクリエーション〈58〉

缶ペタンク

フランス発祥の球技「ペタンク」をアレンジ。目標とする球に向けて、少し重みをつけた空き缶を投げ、いかに近くに寄せられるかを競います。

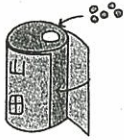
●用意するもの

- ・空き缶…人数分 ・ゴムボール…1個
- ・缶の中に入れる物…豆やビーズなど
- ・ガムテープ ・色紙、千代紙、シールなど
- ・マジック

●準備

○自分の缶ボールを作る

空き缶のプルタブを取り除き、豆やビーズなどを入れる。(重さは自由です。)口をガムテープで封をする。缶のまわりに濃く見やすい色の紙に、名前や絵を書いて張る。



●ゲームの進め方

- ・2チームに分かれ、じゃんけんを勝ったチームが先攻。
- ・先攻チームが目標球(ゴムボール)を投げ、続けて目標球に向かって、第1球目の缶ボールを投げる。
- ・後攻チームが第2球目を投げる。先攻チームより目標球に近い位置をねらう。
- ・相手チームより目標球の近くに投げられたら攻守交代。それまでは同一チームが投げ続けられる。相手の缶をはじき飛ばしたり、目標球に缶ボールを当ててもよい。
- ・全員が投げ終わり、目標球に最も近く缶を寄せたチームの勝ち。



●バリエーション



円になっての競技もおすすめ。向かいに人がいるのがわかるので安心して、交流もはかり

やすくなります。

助成金ご案内

「老後も豊かにするボランティア活動資金」

地域社会で高齢者のための活動を行っているボランティアグループで、ボランティア数10人～50人程度。活動実績2年以上のグループで、過去3年以内に本助成を受けたグループ、老人クラブ内での活動グループ、法人格を有する団体は対象外です。

・助成金額は、1グループ10万円限度

・応募方法と申込期限

申請書に社協の推薦を得て、5月24日(金)までに送付する。(申請書は、社協にあります。)

ボランティアセンターに
新規・登録
更新

大町市ボランティアセンターでは、市内で活動しているボランティアの育成と活動の支援を図るため、ボランティア登録の受付を随時行っています。

●登録できる団体は…

- ①ボランティア活動を行う意思がある団体。
- ②活動が公共性や社会性があり、政治的・宗教的・営利目的がないこと。
- ③市内に活動拠点を有し、代表者が明確であり、団体の活動内容を公表できる団体。
- ④ボランティアセンターと連携をとるとともに、市社協の行う事業に協力できる団体。

●登録するメリットは…

- ①ボランティア活動保険に加入ができ、掛金補助が受けられます。
- ②ボランティア活動助成金の申請ができます。
- ③大町市総合福祉センターの会議室使用料が無料になります。
- ④コピー機・印刷機が使用できます。
- ⑤ボランティア情報紙等に、団体紹介やイベント情報を掲載できます。

※既に登録いただいている団体の登録更新手続きの受付も行っています。

ボランティア活動助成金

申請受付中

登録ボランティア団体が行う、地域福祉活動の推進をはかるための活動に要する経費に対する助成金の申請を受付けています。

●対象になる事業は…

- ①学習・研修活動(勉強会・視察研修・スキルアップ講座等)
- ②広報・教育活動(広報紙発行・講演会の開催)
- ③活動に必要な福祉器具等の整備
- ④環境美化や施設訪問など

●助成額は…

対象事業に要した経費の1/2
限度額は、5万円

助成期間は、1年

申込締切は、5月20日(月)まで

●問い合わせ先

大町市ボランティアセンター
(大町市総合福祉センター内)
TEL 22-1501
FAX 22-7071



問い合わせ
大町市ボランティアセンター
TEL 22-1501
FAX 22-7071

活用ください!

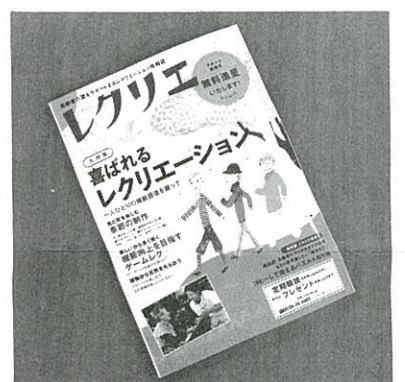
地域で行う、行事や交流会時のレクリエーションの参考にいただけるように、高齢者向けのレクリエーション雑誌の購入を始めました。

内容は、季節の物作り、機能向上を目指すゲームレク、簡単料理、介護、脳トレ、ぬり絵など盛りだくさん

年4回の発行ですので、季節に応じたレク等に活用いただけます。ご覧になりたい方は、市総合福祉センター内 大町市ボランティアセンターまで。

・対象となる活動は、

助成を希望するボランティア活動内容	対象となる使用項目の例示
① 高齢者の日常生活を援助するボランティア活動	食事サービス、健康づくり、友愛訪問等の生活援助活動に必要な機材等
② 高齢者の生活環境を良くするボランティア活動	高齢者宅の除雪作業活動、家屋の修理活動、植木の手入、清掃活動等に必要な用具・機材等
③ 高齢者のレクリエーション等を豊かにするボランティア活動	レクリエーション等の活動に必要な楽器・ゲーム機・拡声器等用具・機材
④ 高齢者と他世代との交流を図るボランティア活動	伝統芸能継承等の活動に必要な用具・機材等



レク雑誌「レクリエ」

